

平成27年度 事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	Ⅱ	消防・救急救助体制の充実
目標	火災予防活動の強化や消防団の活性化など総合的な消防力を強化し、火災発生や被害を防ぐ。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標① 建物火災の発生件数	件	13	7	11	11	8	4	6		6
指標② 火災による死傷者の割合	%	18.5	7.7	10.5	31.2	7.1	33.0	0.0		0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 火災予防活動の推進	① 防火管理体制の強化	・地域住民と事業所等の連携による防火管理体制の強化に努めます。
1-②	1 火災予防活動の推進	② 防火思想の普及	・市民の防火、防災意識の高揚を図るための講習会や広報活動を強化するとともに地域、事業所の火災予防の普及啓発に努めます。 ・登別市消防創設100周年を平成25年度に迎えるため、各種記念事業を実施し、消防活動の充実と市民の理解・協力を努めます。 ・事業所等における防火管理の知識、技術の向上を図るための防火管理講習会の定期的な実施に努めます。 ・住宅火災から死者数の低減を図るため「住宅用火災警報器」の義務化により住宅への設置普及に努めます。
1-③	1 火災予防活動の推進	③ 防火査察の徹底	・防火対象物の査察を定期的の実施し、火災予防上必要な指導に努めます。 ・危険物施設への定期的な立入検査を通じ、技術基準の適合性について安全指導に努めます。 ・災害時要援護者を災害から守るため、一人暮らし等の高齢者査察を強化します。
1-④	1 火災予防活動の推進	④ 消防団の活性化	・女性団員も含め新団員の確保等、消防団の強化に努めます。 ・消防団員の安全装備品の整備に努めます。
2-①	2 消防力の強化・高度化	① 消防施設、機器整備の高度化と効率化	・消防、防災活動の拠点として防災センター機能も備えた消防庁舎の建設を検討します。 ・効果的な出動体制を確立するため、消防施設の適正配置の検討及び老朽化した各施設の計画的な整備に努めます。 ・消防ポンプ自動車、救助工作車等、消防資機材の整備を順次進めるとともに、早急に必要な場合は速やかな対応に努めます。
2-②	2 消防力の強化・高度化	② 消防用通信体制の整備	・消防救急デジタル無線の整備を行い、消防緊急通信指令施設の共同運用など消防機動力の高度化に努めます。
2-③	2 消防力の強化・高度化	③ 消防水利の拡充	・水利不足地域の解消を図るため計画的に消火栓や防火水槽の整備に努めます。
2-④	2 消防力の強化・高度化	④ 広域消防体制の整備と消防施設の適正配置	・災害対応型車両の導入やそれに対応した資機材の整備に努めます。 ・行政区を越えた消防救急無線のデジタル化・広域化・共同化と消防指令業務の共同運営について広域的な体制の整備に努めます。

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do													Check			Action										
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)							
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算					H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案				
1	1-④	消防団員貸与品購入事業 23214001	消防本部 消防(総務G)	-	-	ソフト	一般会計	それぞれの職業に従事する一方、市民の生命・身体・財産を災害から保護すると共に、被害軽減のため、昼夜を問わず火災予防啓蒙・訓練等に献身的に努力を続けられている消防団員に対し、貸与品の整備を行い、消防団の活気ある活動と消防力の充実を図ることを目的とする。	H25	消防団員	【新入団員への貸与】 制服・制帽・活動服・アポロキャップ・黒短靴・ベルト・ネクタイ 【経年劣化した貸与品の更新】 制服・制帽・活動服	消防組織法、登別市消防団条例・同規則、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律	消防団員数 ※条例定数は191人	人	157	155	191	191	191	191	国庫支出金										H25以前	維持 (統合)	・地域住民の防災意識向上と、消防力の充実強化を図るため、消防団員の増員は必要である。 ・消防団員の増員に伴う貸与品の購入は安全管理の面からも必要不可欠である。 ・消防団安全装備品等更新計画に基づき購入していく。	消防団の活気ある活動と消防力の充実・強化により、地域住民の安心・安全を守るため、今後も事業を実施していく。消防団資機材整備事業と統合して、「消防団安全装備品等購入事業」として、消防団安全装備品等更新計画に基づき実施していく。
H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債														H26									
H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源		906	906	906											H27							
													合計	906	906	906	0	0	0															
2	2-①	火災原因調査車更新事業 23221013	消防本部 消防(総務G)	H26	H26	ハード	一般会計	老朽化した火災原因調査車を更新することにより、消防体制の強化を図ることを目的とする。	H25											国庫支出金										H25以前	終了	消防体制の強化を図ることを目的として火災原因調査車を更新した。	平成26年度で事業終了。今後、更新が必要な時期に更新を行う。	
H26	市民	消防体制の強化を図るため火災原因調査車1台を更新した。																	地方債		8,500								H26					
H27																				一般財源		81								H27				
													合計	0	8,581	0	0	0	0															

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do														Check			Action										
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24~H27)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方 向性 【H28以降】						
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、数 値を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算						H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案			
3	2-①	空気呼吸器 及びFRP ポンプ更新 事業	消防 本部	消防 (総 務 G)	H25	-	ハード	一般会計	H25	消防職員	空気呼吸器及び空気呼吸器用ポンプを計画的に更新する。	高圧ガス法	空気呼吸器	器	9	0	3	3	3	2	国庫 支出金								H25 以前	維持	高圧ガス法等に基づき、廃棄 基準があるため、更新する必 要がある。計画的な整備を進 めることができる。 今後は消防車両等更新事業を 踏まえ更新するが、上記事業 がない場合は空気呼吸器及び FRPポンプ更新事業で更新 していく。	高圧ガス法等に基 づき、廃棄基準が あるため、更新す る必要があり、計 画的な整備を進め ていく。			
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									地方債	石油貯蔵施設立地 対策等交付金	6,000	1,400										H26	
									H27	上記のとおり	化学消防ポンプ自動車更新事業にて更新する。	上記のとおり	空気呼吸器用ポン プ	本	23	12	12	12	12	12	一般 財源		99	188	0	2,730	2,730	2,352							H27
									合計														6,099	1,588	0	2,730	2,730	2,352							
4	2-②	消防緊急通 信指令装置 更新事業	消防 本部	消防 (総 務 G)	H26	H26	ハード	一般会計	H25				消防緊急通信指令 装置	式							国庫 支出金								H25 以前	終了	多種多様な災害への対応にあ たり、連絡体制の強化や救急 隊の現場への到着時間の短縮 など、効率的な隊運用により 救命率の向上を図るため消防 緊急通信指令装置更新事業を 更新した。	平成26年度で事業 終了。 消防緊急通信指令 装置は耐用年数が 10年とされており、今後は消防広 域化の検討結果を 踏めて協議する。			
									H26	市民	消防緊急通信指令装置は、更新してから13年経過しており、装置の経年劣化や不都合箇所の部品到達が困難になっており業務に支障をきたす可能性が出てきたため更新した。	-									地方債		102,600											H26	
									H27												一般 財源														H27
									合計													0	102,600	0	0	0	0	0							
5	2-④	大規模災害 用備蓄器具 等整備事業	消防 本部	警備 G	H25	-	ソフト	一般会計	H25	市民	現在の救助資器材は配備から20年以上の経過で老朽化しているため、資器材を更新し各車両に積載した。【購入実績】 ・エンジンカッター		エンジンカッター 購入数	式	2	1	1	2			国庫 支出金								H25 以前	維持	大規模災害時における救助活 動の円滑化及び効率化を図る とともに、災害派遣時に地元災 害に対応できない事態を避け るためにも継続することが必 要である。 今後は消防車両等更新事業を 踏まえ更新するが、上記事業 がない場合は大規模災害用備 蓄器具等整備事業で更新して いく。	大規模災害用備蓄 器具等整備事業 整備計画に基づき、 15年を目標に更新 していく。			
									H26	上記のとおり	上記のとおり【購入実績】 ・エンジンカッター ・チェーンソー	-									地方債													H26	
									H27	上記のとおり	化学消防ポンプ自動車更新事業にて実施予定。	-	チェーンソー購入 数	式		1	1	2	1	1	一般 財源		406	432	75	425	205	205							H27
									合計													406	432	425	425	205	205								